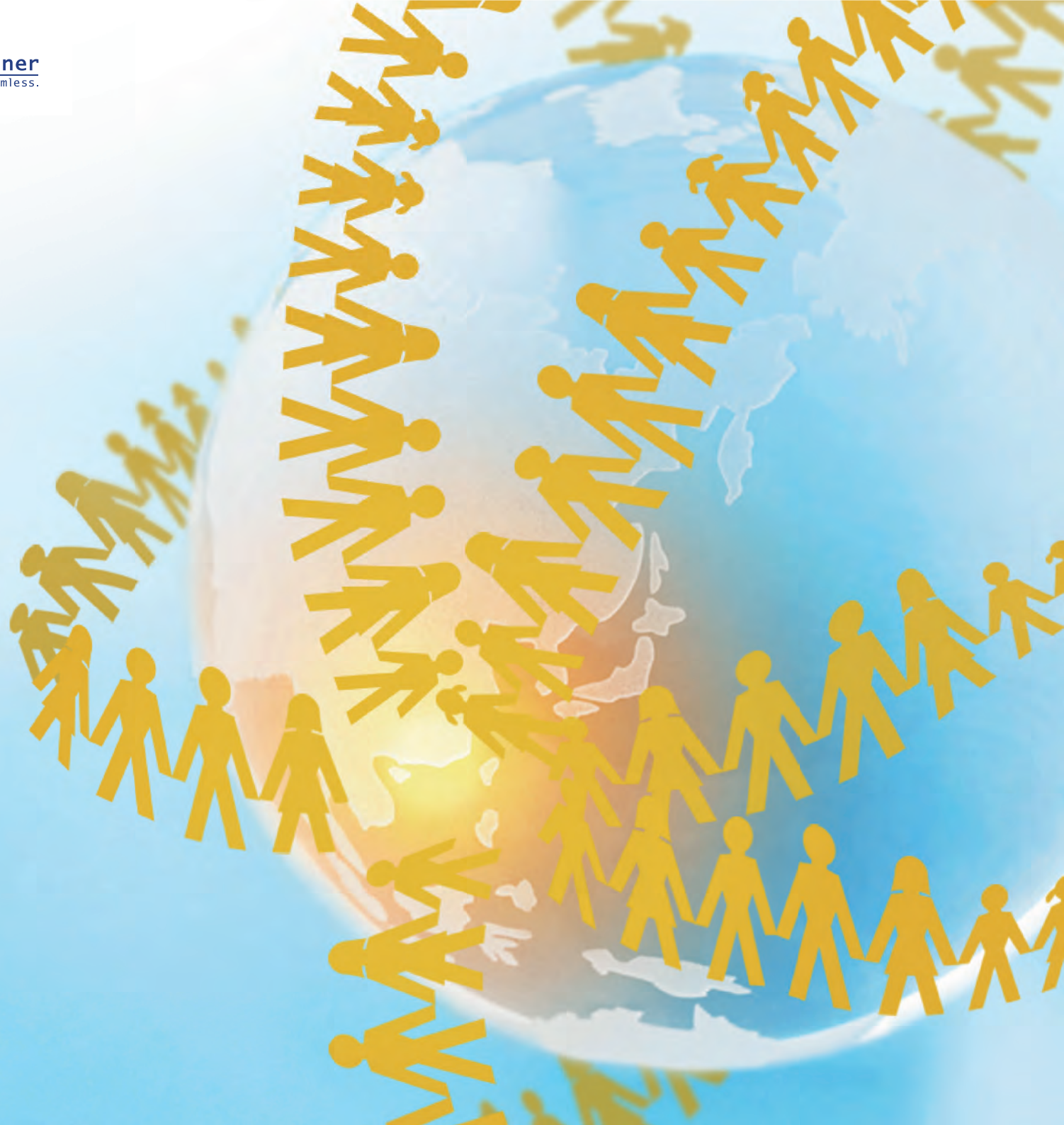


NTTコミュニケーションズグループ  
**CSR報告書 2013**

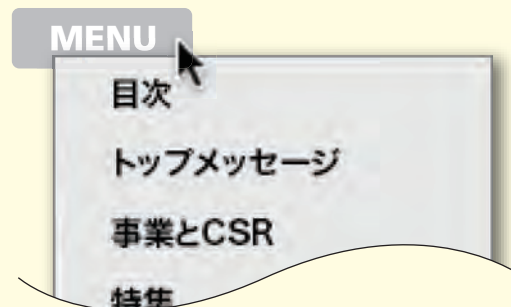


# 目次

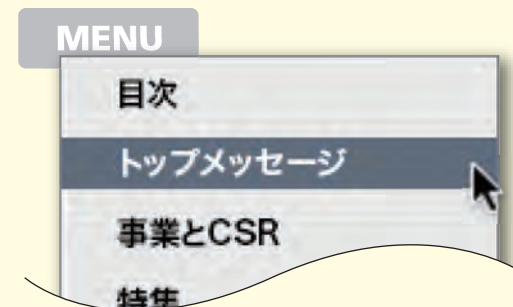
➔ 目次	1
トップメッセージ	2
事業とCSR	
事業ビジョン	3
事業概要	4
ステークホルダーとCSR基本方針	5
特集 香港FDCにおける事業とCSR	6
視点1 「社会」課題の解決	7
視点2 「環境」側面での貢献	8
視点3 「人材」の育成	9
CSRの重点領域	10
活動ハイライト	11
領域1 社会への貢献	11
領域2 地球環境保護	13
領域3 人材の尊重	15
CSR報告について	17
報告媒体について	18
会社概要	18

# 使い方

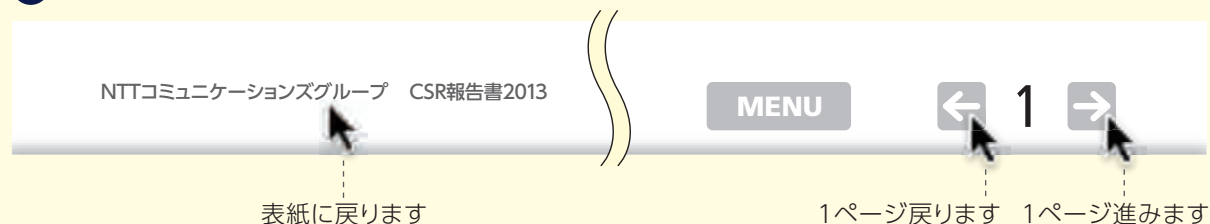
① MENUボタンをクリックすると、プルダウンメニューが現れます。



② 各カテゴリーをクリックすると、各カテゴリーのトップページへ移動します。



③ ヘッダー部分をクリックすると、下記のように動きます。



④ リンクボタンをクリックすると、外部の各ページへ移動します。



## トップメッセージ

# 社会的課題の解決と持続的発展のため、 グローバルに貢献してまいります。



NTTコミュニケーションズ株式会社  
代表取締役社長

有馬 彰

我が国の経済情勢は、新政権発足以降、円高是正・株価上昇などを背景に実体経済にも明るい兆しが見えていますが、海外経済については、新興国や欧州における減速状態から脱しておらず、また、消費税引上げの影響など景気の先行きは不透明な面が残されています。

一方、通信市場におきましては、高速ネットワーク、とりわけ高速モバイル通信を背景としたスマートフォンの普及による市場の拡大、また、クラウド化にともなうビッグデータによる利用者個々のニーズに即したサービスの提供、業務運営の効率化や新産業の創出等が期待されています。

このような経営環境の激しい変化を踏まえ、2012年度は、事業ビジョン「ビジョン2015」のもと、「Global ICT Partner」というスローガンを掲

げ、経営構造をグローバルシームレスに変革し、世界中のお客さまにとって最適なパートナーとして選ばれるようNTTコミュニケーションズグループ一丸となって取り組んでいます。

具体的には、グローバルクラウドビジョンにもとづく新たなサービスの提供、グローバルシームレスなセールスの展開、競争力の高いオペレーションの実現など、新たな成長事業の立ち上げと既存事業の抜本的な効率化を同時に進めました。

NTTコミュニケーションズグループの事業は、お客さまはもとより、さまざまなステークホルダーの皆さまとのかかわりのなかでなっています。

“Global ICT Partner”としてふさわしいCSRの活動により、社会的課題の解決と持続的発展への貢献を、より一層、邁進してまいります。

事業とCSR 事業ビジョン

# ひとつにつなぐ

NTTコミュニケーションズの強みであるネットワークやデータセンターからサーバーやアプリケーションまでをエンド・ツー・エンドかつワンストップで提供する、通信事業者ならではのクラウドサービスをグローバルシームレスにご提供。グローバル化、スピード経営、コスト削減など、あらゆる面でお客さまのお役に立ちたいと考えています。

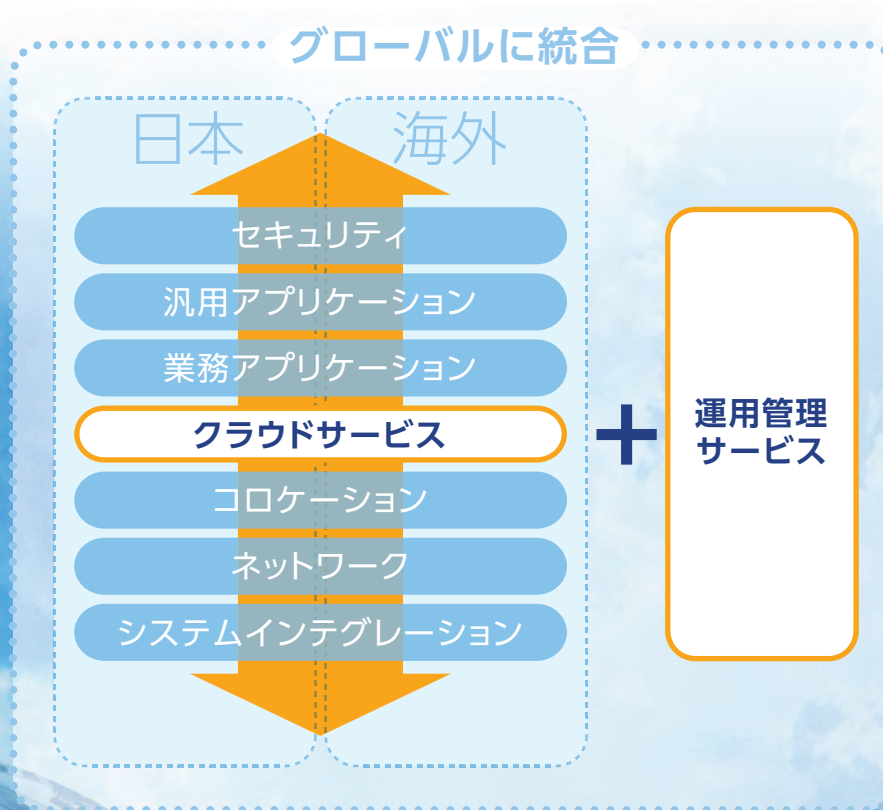
事業ビジョン

**Global ICT Partner**  
Innovative. Reliable. Seamless.

“Innovative.” “Reliable.” “Seamless.”

それは、革新的で信頼性の高い、  
国内・海外を問わないシームレスな  
ICTサービスを提供していく姿勢の表れです。

グローバルトータルICTアウトソーシングイメージ



グローバルクラウドビジョン

事業とCSR 事業概要

# グローバルなICTサービスを ワンストップで提供しています。

NTTコミュニケーションズは、世界各地の拠点網を、  
多様な人材・堅実な事業基盤で運営し、皆さまの豊かな日々を支えています。

グローバルサービス



## グローバルな IPネットワーク

高品質かつグローバルな  
IPネットワークを有する  
世界有数の「グローバル  
Tier I プロバイダー」です。

## データセンターサービス

全世界140拠点以上  
サーバールーム総面積約18万m<sup>2</sup>以上  
(2013年3月時点計画のものを含む)



## 運用サービス

世界三極にあるネットワーク・オペレー  
ションセンターで24時間・365日の運  
用サービスを提供しています。



## ICT環境の構築～運用サービス

海外31カ国／地域87都市で  
ICT環境の構築～運用  
サービスを提供しています。



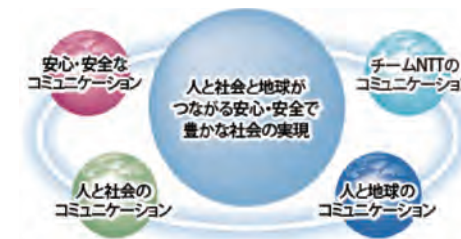
事業とCSR ステークホルダーとCSR基本方針

# Global ICT Partnerに ふさわしいCSR活動の実践に 努めています。

NTTグループの一員として

NTTコミュニケーションズグループのCSR基本方針はNTTグループCSR憲章を踏まえ、NTTグループ一体となり社会の課題解決に取り組んでいます。

NTTグループCSR憲章



## NTTコミュニケーションズグループのCSR

### お客さま

- 1 お客さま第一の視点で、お客さまにとって本当に価値あるサービスを提供します
- 2 NTTコミュニケーションズグループの社員としての責任とプライドをもって、スピーディ・柔軟・誠実に対応します
- 3 お客さまとの持続的な信頼関係を築きます

### ビジネスパートナー

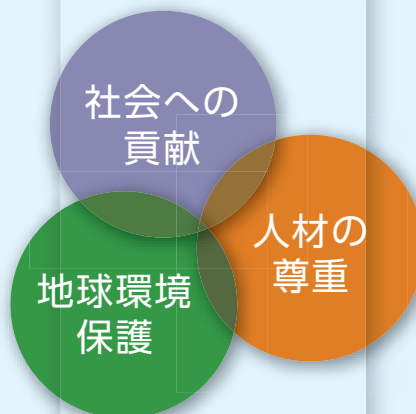
- 1 お客さまに提供する価値を最大化するために、パートナーとより良い協力関係を築きます

### 株主

- 1 事業活動に関する情報を公正、正確、タイムリーに開示します
- 2 企業として絶え間ない成長を続け、株主の利益を高めるように努めています

### CSR基本方針

私たちNTTコミュニケーションズグループは、Global ICT Partnerとして、情報通信サービスの提供を通じて、グローバル規模で社会の新たな価値創造や課題解決に取り組み、豊かで持続可能な社会の実現に貢献します。



### CSR重点活動方針

CSR基本方針を継続的に実践するための具体的な目標を設定しています。また、環境面については「環境ビジョン」を別途設けるなど、事業の特徴を踏まえた活動を重視しています。

Our Business Principle

### 社会

- 1 サービスの提供を通じて、ICT社会の健全な発展に貢献します
- 2 社会とのつながりを大事にし、地球環境保護に貢献します
- 3 世界各国の文化・慣習を理解し、尊重します

### 競合会社

- 1 ルールを守り、フェアな競争を行います

### 社員・職場環境

- 1 個性と多様性を認め、お互いの人権を守ります
- 2 お互いを信頼・尊重し、自己実現を図るのにふさわしい環境をつくります
- 3 ICT企業として、セキュリティ保護に全力を尽くします

特集

フィナンシャルデータセンター

# 香港FDCにおける事業とCSR

2013年5月、NTTコミュニケーションズグループが設計し、建設を進めてきた金融業向け大型データセンター「香港FDC」の運用を開始しました。

## アジア金融市場の発展を支える最高ランクの安全性と信頼性を提供

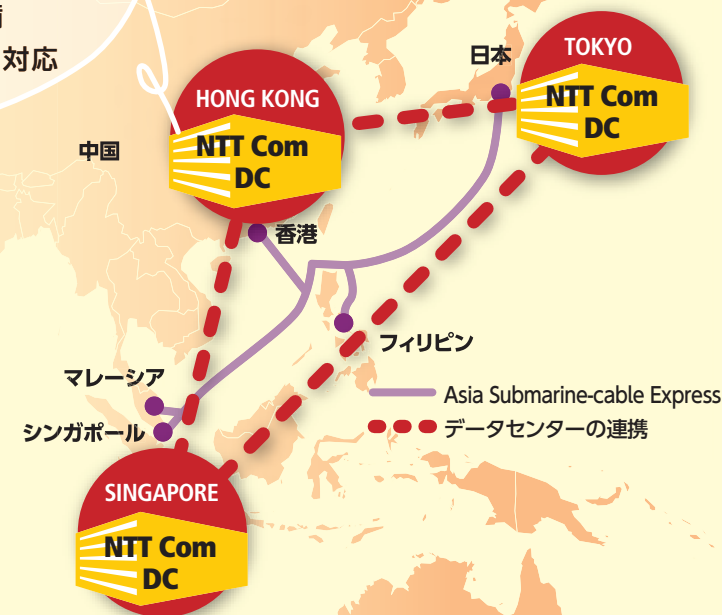
NTTコミュニケーションズグループは、2013年5月、急速な成長を続けるアジア金融市場の中核都市・香港において、金融機関のお客さまを対象とした「香港FDC(Financial Data Center)」の運用を開始しました。総延床面積は、香港で最大級となる約7万m<sup>2</sup>。データセンターの国際基準において最高ランクの安全性と信頼性を誇っています。

## 「Asia Submarine-cable Express(ASE)」をベースに低遅延接続を実現

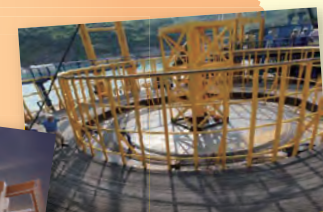
金融取引の高速化がますます進むなか、アジアの主要金融拠点である東京やシンガポールと直結する大容量光海底ケーブル「Asia Submarine-cable Express(ASE)」の陸揚げ局を香港証券取引所に近接する香港FDC内に收容し、活用することで低遅延接続を低コストで提供できます。

### NTT Com 香港FDCの特長

- 最先端の環境性能
- 高効率な電力空調・設備
- 高信頼性指標「Tier IV」対応



香港FDC外観



Asia Submarine-cable Express

## 特集 香港FDCにおける事業とCSR

## 視点 1 「社会」課題の解決

お客様のBCPを支える  
堅牢で信頼性の高いデータセンター

データセンターは、お客様のBCP(事業継続計画)を支える最重要インフラのひとつです。こうした認識をもとに、NTTコミュニケーションズのすべてのデータセンターは、国際的なデータセンターの信頼性基準である「Tier(ティア)」にもとづいて設計されています。なかでも「香港FDC」はティアの最高品質の「Tier IV」に対応。堅牢な耐震性を有したビルは、津波や洪水に対しても安全な地域に立地しており、電力・空調・通信の故障や保守に備えて予備装置を常時運用するなど、万全のバックアップ体制を確立しています。

徹底したセキュリティ対策を講じて  
安全で円滑な金融ビジネスに貢献

データセンターの信頼性を確保するセキュリティについても、徹底した対策を講じています。敷地入口からサーバーラックの間には、生体認証など8段階のセキュリティ対策を講じてお客様のシステムを厳重に

守っています。さらに、IPベースの監視カメラなどによる最新の安全監視技術を採用。セキュリティマネジメントにおいても「ISO27001」\*1に準拠し、「ISAE3402」\*2に対応しています。

\*1 情報セキュリティマネジメントの国際規格

\*2 受託業務を行う企業の内部統制を保障する国際基準

## Voice キーパーソンの声

お客様の利便性向上にも配慮した  
セキュリティ対策を実施

香港FDCは、8段階のセキュリティチェックポイントを設定し、さらに生体認証機能アクセスカードを導入するなど、高いセキュリティ対策を講じています。また、Webにより事前入館予約、電子入退館手続きなどの機能を有する入退館管理システムを導入し、ペーパーレスを実現するとともに、お客様の利便性向上にも配慮しています。



Senior Manager, Data Centre Business Eric Chan

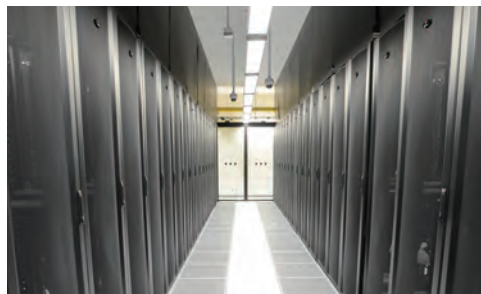


特集 香港FDCにおける事業とCSR

## 視点 2 「環境」側面での貢献

### 高効率な空調・電力設備で省エネを実現し、 お客さまのエネルギー削減目標の達成に貢献

「香港FDC」は、最先端の環境技術や高効率設備を採用するなど、全米グリーンビルディング評議会が策定した建物の環境性能評価制度「LEED」のGOLD認証に準じて設計されています。特にデータセンターでは設備機器の冷却効率が環境性能を左右することから、香港FDCでは空調設備にインバータ制御のファンを導入し、空調機からの供給冷気とサーバー排熱を分離するコールドアイルコンテインメントやファン動力を抑えるための十分なスペースを確保した空調用二重床下・天井上チャンバーを採用することで効率的な冷却を実現しています。また、オペレーションセンター用の電源には、燃料電池を用いたUPS(無停電電源装置)を採用するなど、大幅な省エネを実現することでお客さまのエネルギー削減目標の達成に貢献します。



冷却効率の高いサーバールーム



燃料電池を用いたUPS

### 省エネ計測の基準を統一して データセンター全体の環境効率を向上

香港FDCでは、太陽熱温水器や雨水灌漑システム、人感センサーによる照明制御など、随所に環境に配慮した設備を設置。こうした取り組みは定期的に開催している施設見学会に参加されたお客さまからも高く評価されています。また、データセンター全体の環境効率を高めるために、省エネ性能の計測基準を、データセンターやサーバー室などのエネルギー効率を示す「エネルギー指針(PUE)」に統一。PDCAサイクルを通じた省エネ施策を推進しています。

#### Voice キーパーソンの声

### これからも環境に優しい、より良いサービスを

このデータセンターは、電力、機械設備の信頼性指標の最高ランクである「Tier IV」に対応しているほか、大容量光海底ケーブルのデータセンター直接収容によるアジア主要金融ハブへの低遅延接続などの特長をもっています。今後も香港のデータセンター市場のマーケットリーダーとして地位をさらに強固にするために、“環境に優しく、より良いサービス”を提供していきます。



NTT国際通信株式会社 香港支店 鈴木 建

## 特集 香港FDCにおける事業とCSR

## 視点 3 「人材」の育成

データセンターの実機などを整えて  
最新の運営技術・ノウハウを共有

香港FDCは、最新のデータセンター運営の技術やノウハウを現地社員と共有するための教育研修に注力しています。データセンター内には研修室のほか、実際に使用されている機器を用意して、社員研修はもちろん、お客さま向けのデモなどにも活用しています。また、研修にあたっては、研修内容の品質の均一化や受講者のペースでの受講が可能となるe-Learningプラットフォームを活用しています。



e-Learning風景

日本人と現地社員、日本と海外の  
双方向の技術共有・議論が活発化

より高品質なデータセンターサービスを提供するため、香港FDCでは、日本人出向者、現地社員を問わず、データセンターに関わる最新技術の動向など情報共有の機会や議論の場を積極的に設けています。日本と海外

のデータセンター拠点を結んで適宜実施される「技術交流会」はそのひとつで、技術力やノウハウだけでなく、モチベーション向上などの面でも相乗効果を発揮しています。



技術交流会

## Voice キーパーソンの声

## 最高レベルのデータセンターサービスの提供を目指して

香港FDCでは現在、データセンター管理者の専門性を育成するため、独自の研修システムの策定に取り組んでいます。研修の充実は、サービスの競争力を高めるだけでなく、若く優秀な人材を採用するうえでも重要です。今後は、研修システムだけでなく、データセンター管理システムなども含めて、他のアジア諸国の拠点と連携して、世界最高レベルのデータセンターサービスの提供を目指していきます。



EVP, Cloud Business Taylor Man

# CSRの重点領域

重点領域に即した2012年度の主な活動をご紹介します。

常務取締役  
CSR委員長

森 清



	特に重視している項目	社会の問題・注目点	2012年度の主な活動
<p><b>社会への貢献</b></p> <p>私たちは常に社会から信頼されるよう行動します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユビキタスネットワークインフラの整備</li> <li>重要インフラとして高い安定性と信頼性の確保</li> <li>社会貢献活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者課題</li> <li>コミュニティ参画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティオペレーションのグローバル展開</li> <li>「健康増進アシストサービス」の共同実証実験</li> <li>海外パートナーキャリアとの品質向上会議</li> <li>NTTアメリカの社会貢献活動</li> </ul> <p>その他の取り組み ▶</p> <p><a href="http://www.ntt.com/csr/report2013/data/st_index.html">http://www.ntt.com/csr/report2013/data/st_index.html</a></p>
<p><b>地球環境保護</b></p> <p>私たちは美しい地球とそこに生きるすべての生物の共存に寄与します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>温暖化防止</li> <li>廃棄物削減</li> <li>紙資源削減</li> <li>生物多様性の保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英国で省エネ性に優れたデータセンターを運用</li> <li>「東京第6データセンター」を提供開始</li> </ul> <p>その他の取り組み ▶</p> <p><a href="http://www.ntt.com/csr/report2013/data/en_index.html">http://www.ntt.com/csr/report2013/data/en_index.html</a></p>
<p><b>人材の尊重</b></p> <p>私たちはお互いを信頼・尊重し、自己実現を図るのにふさわしい環境をつくります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様性の尊重と機会均等の推進に向けた取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権</li> <li>労働慣行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロフェッショナル人材育成</li> <li>グローバル人材マネジメント(GHRM)の取り組み</li> <li>外国籍学生の採用を強化</li> <li>多様な人材のキャリア開発支援</li> </ul> <p>その他の取り組み ▶</p> <p><a href="http://www.ntt.com/csr/report2013/data/of_index.html">http://www.ntt.com/csr/report2013/data/of_index.html</a></p>
<p><b>ガバナンス</b></p> <p>私たちは経営の透明性と健全性を確保することを最重要課題として位置づけています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報セキュリティの確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織統治</li> <li>公正な事業慣行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報システムの脆弱性診断を実施</li> <li>グループ会社・海外現地法人のセキュリティ調査などを実施</li> </ul> <p>その他の取り組み ▶</p> <p><a href="http://www.ntt.com/csr/report2013/data/management.html">http://www.ntt.com/csr/report2013/data/management.html</a></p>

# 活動ハイライト

[その他の取り組み ▶](#)
[http://www.ntt.com/csr/report2013/data/st\\_index.html](http://www.ntt.com/csr/report2013/data/st_index.html)

## 領域1

## 社会 への貢献

### セキュリティ オペレーションの グローバル展開



ビジネスのグローバル化と近年のセキュリティ脅威の急増を背景に、企業においてはグローバルに統一したセキュリティ対策が求められています。こうしたなか、NTTコミュニケーションズでは、2003年に設立したセキュリティオペレーションセンター(SOC)による企業向けセキュリティ運用サービスを、2013年6月にセキュリティリスクの調査・改善・モニタリングを総合的に行う「WideAngle」として発展させ、グローバル展開を開始しました。

NTTグループの豊富なノウハウと技術力を活かし、多彩なセキュリティ対策や高度なセキュリティ脅威の検知に加え、選択可能な運用レベルも提供、より

多くの企業が安心・安全な情報システム環境を実現できるよう取り組んでいます。



セキュリティオペレーションセンター

### 「健康増進アシスト サービス」の 共同実証実験

NTTコミュニケーションズは、NTTレゾナントとfoo.log株式会社と共同開発したスマートフォンとパソコン向け「健康増進アシストサービス」の実証実験を2011年に6万人のモニター参加を得て

実施。その成果を、2012年8月からNTTレゾナントが提供する健康管理サービス「goo からだログ」の1ラインナップとして提供しています。

提供しているサービスには、食事写真からカロリーを自動推定する世界初の機能や、スマートフォンを持ち歩くだけでGPSと加速度センサーによって歩行距離や消費カロリーを推定する機能などを搭載。記録データは容易に管理し、健康維持やダイエットに活用することができます。



goo からだログヘルスアシスト画面

## 活動ハイライト

その他の取り組み ▶

[http://www.ntt.com/csr/report2013/data/st\\_index.html](http://www.ntt.com/csr/report2013/data/st_index.html)領域1  
社会  
への貢献海外パートナー  
キャリアとの  
品質向上会議

NTTコミュニケーションズは、グローバルネットワークサービスにおけるオペレーションとデリバリーに関する品質の改善を目的に、パートナーである各国の通信事業者を日本に招いて、故障や構築の問題への対処方法や未然防止策について協議する「Arcstar Carrier Forum(ACF)」を2000年から毎年開催しています。

2013年2月に千葉で開催したACFでは、国際ネットワークサービス「Arcstar グローバルネットワークサービス」の設計・構築・運用・保守面での品質向上、お客さま満足度の向上に向けた議論を展開。「お客さまの希望納期遵守率の向上」「故障時におけるお客さまへのリアルタ

イムな進捗状況の報告の実施・徹底」など5つの課題に重点的に取り組むことに合意しました。



Arcstar Carrier Forum

NTT アメリカの  
社会貢献活動

NTT アメリカは、第2四半期も社会貢献に向け、NTTコミュニケーションズのCSR活動の枠組みのなかで「企業の社会的責任プログラム」に取り組みました。2012年6月にはNTTコミュニケーションズの地域美化活動の一環として、NTT

の協力企業であるDimension Data社、また、お客さまでありベンダー企業でもあるBlue Coat Systems Inc.とともに、学校環境の改善に取り組んでいるチャリティー団体「City Year New York」の活動に参加し、市内の公立学校「P.S.161 Pedro Ablizu Campos」で中庭を園芸のスペースや遊び場に変える作業を支援しました。

また、NTTアメリカは、青少年や子どもものの保健、福祉の支援に向けた慈善活動にも貢献しています。2012年度は、子ども病院を支援するゴルフ大会など4つのチャリティーイベントを金銭的に支援しました。



「City Year New York」の活動に参加

活動ハイライト

その他の取り組み ▶

[http://www.ntt.com/csr/report2013/data/en\\_index.html](http://www.ntt.com/csr/report2013/data/en_index.html)

領域2  
地球  
環境保護

英国で  
省エネ性に優れた  
データセンターを運用



企業の海外展開が加速するなか、グローバルなICTサービスへのニーズが高まっています。NTTコミュニケーションズは、お客さまの海外ビジネスをサポートするために、通信ネットワークと一体化したデータセンターを世界各地で展開するとともに、データ処理量の増加にともなって増え続けるデータセンターのエネルギー使用量の抑制に努めています。

欧州におけるクラウドサービス事業の中核拠点として2012年6月に買収、サービスを開始した英国のGyron社においても、先進の環境技術を導入してデータセンターの省エネに取り組んでいます。

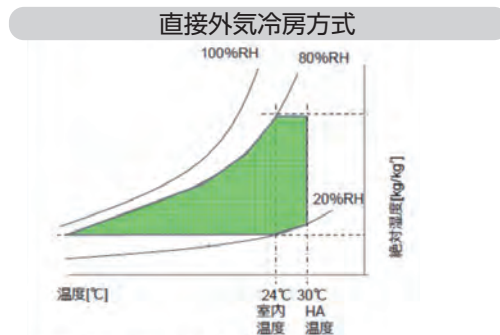
そのひとつが、冬季の低温な外気を利用する「間接外気冷房」です。これは、外気を室内の空調機を通じて取り込み、サーバーやネットワーク機器の発熱を冷却するもので、世界最高水準の省エネ性と高い信頼性を併せもっています。二つ目の施策がエアフロー最適制御技術を用いて冷気を壁面から供給する方式の採用。従来の床下から冷却する方式に比べて温度

ムラを発生しにくくするなど、効率的な冷却を実現しています。

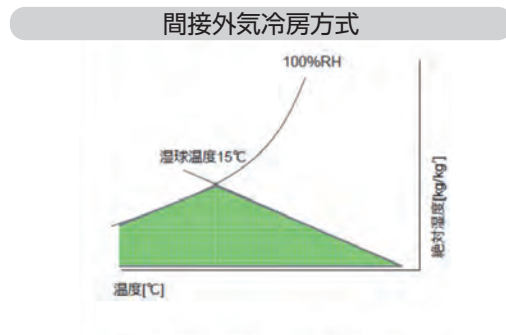
NTTコミュニケーションズは、今後も自然エネルギーの利用拡大や高効率エネルギーシステムの導入によって、増加するデータセンターの一層の省エネを推進していきます。



壁吹き出し空調システム



22℃吹き出し  $\Delta t=8\text{℃}$ とした場合に、ホットアイル温度 30℃を下回る外気を利用できるが、濃度の上限・下限を逸脱しないよう取入れを規制する。



冷却塔の運転により17.5℃以下の冷水温度が発生可能となる、湿球温度15℃以下の外気が利用できる。

## 活動ハイライト

その他の取り組み ▶

[http://www.ntt.com/csr/report2013/data/en\\_index.html](http://www.ntt.com/csr/report2013/data/en_index.html)領域2  
地球  
環境保護「東京第6データ  
センター」を提供開始

NTTコミュニケーションズは、建設を進めてきた「東京第6データセンター」（東京都北区）でのサービス提供を2013年4月23日から開始しました。

2013年  
4月  
OPEN!

東京第6データセンター

都内最大規模となる本施設は、耐災害性・環境性・利便性・信頼性・拡張性などデータセンターに求められるあらゆる条件を備えた最新施設です。とりわけ環境面では、高効率の電力・空調設備に

よって国内最高レベルのグリーン性能を実現しました。

エネルギー効率の高い水冷式空調機や、電力損失が少なく有害物質を含むバッテリーの廃棄が不要なロータリーUPS（無停電電源装置）の導入。建物外気を利用した冷房システム、屋外空調機への水散布など気化熱の応用。そしてサーバールーム内の冷気と機器からの排熱を分離するエアフローマネジメントの実施などにより、国内データセンター最高レベルとなるPUE（電力使用効率）値1.2を実現したものです。



ロータリーUPS

また耐災害性でも、建物は液状化の心配がない硬い地盤層で支持され、サーバー棟は地震衝撃を最大80%低減できる免震構造とするなど災害に強い仕組みを備えています。

NTTコミュニケーションズは、全世界140拠点以上でデータセンターサービスを展開しています。東京第6データセンターの開設に合わせ、グローバルデータセンターサービスの新ブランドとして「Nexcenter™」を創設しました。今後、サービスレベルのさらなる高度化や品質向上に努めるとともに、グリーン性能の向上に意欲的に取り組んでいきます。

**Nexcenter**

## 活動ハイライト

その他の取り組み ▶

[http://www.ntt.com/csr/report2013/data/of\\_index.html](http://www.ntt.com/csr/report2013/data/of_index.html)

## 領域3

人材  
の尊重プロフェッショナル  
人材育成

NTTコミュニケーションズでは、「経験に裏打ちされた実践型の知識と経験（スキル）を備え、かつ、世の中で通用する人材」をプロフェッショナル人材と定義し、お客さまニーズの多様化・高度化・複雑化、グローバル化の加速といったビジネス環境の変化に対応し活躍できる人材の育成を強化しています。

2012年度には、従来7つだった人材カテゴリーを15の専門分野に細分化し、目指すべきプロフェッショナル人材像をより専門的・明確に再定義しました。全社員に求められる現場力・人間力に加え、社内・社外の視点から15の専門分野ごとに必要とされるスキル基準を設定し、一人ひとりが各分野のプロフェッ

ショナルになるよう能力開発の支援に取り組んでいます。



プロフェッショナル人材育成認定式

グローバル人材  
マネジメント (GHRM)  
の取り組み

NTTコミュニケーションズでは、“Global One Team”をキーメッセージに、グループ一体となって、グローバルに活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

グローバルコミュニケーション研修、

現地法人との合同のマネジメント研修などを実施しているほか、2011年度には、トレーニープログラムなど現地法人との双方向の人材交流を拡大。また、2009年度から開始した幹部育成プログラムでは、これまでに延べ17人の海外現地採用社員が本社へ出向し、日本におけるビジネスを実践しています。さらに、2012年度は、早期にグローバルに活躍できる社員の育成を目指し、入社1～2年目の社員を海外の現場に派遣する「若手社員海外派遣プログラム」を開始しました。



グローバルコミュニケーション研修



## 活動ハイライト

その他の取り組み ▶

[http://www.ntt.com/csr/report2013/data/of\\_index.html](http://www.ntt.com/csr/report2013/data/of_index.html)領域3  
人材  
の尊重外国籍学生の  
採用を強化

NTTコミュニケーションズグループでは、事業ビジョン「ビジョン2015」の達成に向けたグループ人材基盤の強化に向け、競争力強化とグローバル化に資する多様な人材の採用に取り組んでいます。なかでも、グローバル化に対応した実践型人材の採用を積極的に展開し、特に外国籍学生の採用を強化しています。



韓国における採用活動

例えば、世界中から多様で優秀な人材を発掘・採用するため、成長市場であるアジアを中心に海外現地で開催されるジョブフェアや海外現地大学での採用活動を展開し、特に優秀なエンジニアなどの確保を図っています。2012年度は韓国・中国・米国・インドで現地採用を実施しました。

多様な人材の  
キャリア開発支援

さまざまなバックグラウンドをもつ社員が価値観・発想を互いに活かしあい、いきいきと働くことができるよう、社員のさまざまなステージにおけるキャリア開発支援を行っています。

その取り組みのひとつとして、2012年度は、第一線で活躍する輝く女性社員を増やすことを目的に、女性社員のキャ

リア開発・意識改革支援を重点項目のひとつとして掲げ、女性管理者間のネットワーク構築、女性管理者によるメンタリング活動の推進、さまざまなロールモデルの提示などを積極的に実施しました。



OpenCafe

採用のご案内  
人材育成／キャリアパス

# CSR報告について

## 編集方針

本報告書は、NTTコミュニケーションズグループのCSR(企業の社会的責任)について、「グローバルICTパートナーとして、情報通信サービスの提供を通じ、グローバル規模で社会の新たな価値創造や問題解決に取り組み、豊かで持続可能な社会の実現に貢献していく」活動であると位置づけ、グループとして取り組む姿勢・活動を、さまざまなステークホルダーの方々にわかりやすくご理解いただくことを目的に発行しています。

本報告書では、より正確な報告を期し、NTTコミュニケーションズグループ全体を指す場合は「私たち」、NTTコミュニケーションズやグループ各社を単独で指す場合は、その社名を表記しています。なお、掲載情報はGRIアプリケーションレベルBと考えています。今後も継続的に掲載情報の改善を図っていきます。

## 報告書のプロフィール

### ●参考にしたガイドライン

GRI(Global Reporting Initiative)

「サステナビリティ・レポートガイドライン第3版」

環境省「環境報告ガイドライン2012年版」(webより)

環境省「環境会計ガイドライン2005年版」

ISO26000:2010「社会的責任に関する手引」

※GRIガイドラインおよび環境報告ガイドラインと本報告書の対応については、Webで公開しています。

### ●第三者意見について

CSR活動をより良いものにしていくために、外部の有識者より毎年、第三者意見をいただいています。

### ●対象範囲

本報告書は、NTTコミュニケーションズグループCSR基本方針にもとづき、CSR活動を報告するうえで重要な組織「NTTコミュニケーションズおよびグループ会社」を対象としています。ただし、対象範囲の異なる報告は、個々に対象範囲を明記しています。

### ●対象期間

2012年度: 2012年4月1日～2013年3月31日  
(報告の一部に、同期間の前後の活動と取り組み内容も含め掲載しています。)

### ●発行情報

発行日: 2013年10月

(前回発行:2012年10月、次回発行:2014年10月予定)

## 重要なテーマおよび掲載事項の選定について

本報告書では、NTTコミュニケーションズグループが重要と考えている情報、ならびに、社会からの要望が高かつステークホルダーの方々が必要としている情報をバランスよくご提供するため、GRIガイドライン第3版の[重要性]報告原則などを参考に、下記の2段階のプロセスを経て掲載テーマを選定しています。

また、選定結果に即し、CSR重視経営の要点として重要度が高い情報はダイジェスト版に、より詳細な情報は詳細版に、それぞれ掲載することで、読者の関心に即した利便性の向上を図っています。

なお、2013年版では、ISO26000の浸透などを受けグローバルな企業グループとしてのCSRの浸透に関する説明性の改善を図ると同時に、事業の現場で進む社会への貢献の模索についても積極的な情報開示を心がけました。

### ●2段階の選定プロセス

段階1: 掲載を検討すべきテーマおよび事項を、以下から把握

- ・GRIガイドラインを踏まえた、従来からの掲載項目
- ・同業および周辺業種の各社が掲載しているテーマ
- ・ISO26000の発行にともない関心が高まりつつあるテーマ

段階2: 掲載項目を以下の6つの視点から選考

- ・CSRに関する専門家、専門機関の調査により特定された持続可能性の影響・リスク・機会に関するテーマ
- ・メディアにより頻繁に取り上げられたCSRに関するテーマ(社会的関心事)
- ・関連するステークホルダーが重視しているテーマ(従業員・お客さまへのアンケートなど)
- ・組織の主要な理念・方針(経営理念、「CSR基本方針」、「Our Business Principle」など)に関連するテーマ
- ・組織およびその事業活動などに関連する法規・規制や自主協定に関するテーマ(電気通信事業法、電気通信事業者協会の規則など)
- ・他社(同業他社・CSR先進企業など)が重要と考えるテーマ

## 報告媒体について

### CSRサイト

<http://www.ntt.com/csr/index.html>

CSR活動の最新情報を随時更新。NTTコミュニケーションズグループ各社のCSR活動をご覧いただけます。

### CSR報告書サイト

<http://www.ntt.com/csr/report2013>

「NTTコミュニケーションズグループ CSR報告書2013」の内容を網羅的に掲載しています。「ダイジェスト版」と「詳細版」の2部構成としつつ、媒体ごとに想定読者を意識し効果的な情報提供を目指しています。なお、2012年版よりICT企業ならではのCSR報告として、報告の電子媒体化を実施しました。

「ダイジェスト版」では、NTTコミュニケーションズグループのCSR活動のなかから、より重要度が高い取り組みを一般の方でもわかりやすくご覧いただけるよう紹介しています。

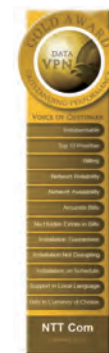
「詳細版」では、NTTコミュニケーションズグループのCSR活動事例や詳細データを網羅的に掲載し、多くの具体的な活動事例をご覧いただける内容としています。

## 会社概要

会社名	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 NTT Communications Corporation
本社所在地	〒100-8019 東京都千代田区千代田1丁目1番6号
営業開始日	1999年7月1日
資本金	2,117億円
従業員数	6,850人(2013年3月31日現在)
事業内容	電気通信事業等
主な参加団体	電気通信事業者協会 理事 日本ネットワークインフォメーションセンター 理事 海外通信・放送コンサルティング協力 理事 全国地域情報化推進協会 理事 IPv6普及・高度化推進協議会 理事

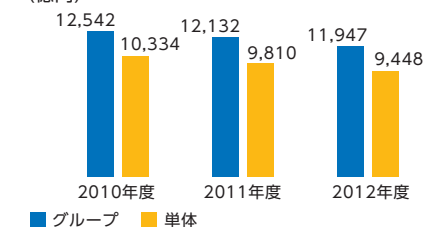
### 世界で評価されている実績

NTTコミュニケーションズは、英国の調査会社 Telemark Services社の顧客満足度調査で、Gold Awardを受賞しています。

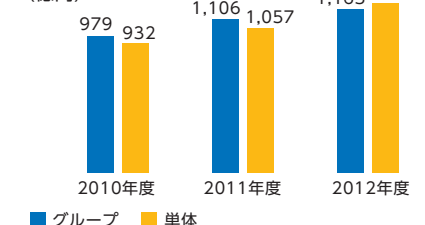


出典：Telemark Services “Global dataVPN NTT Com Highlights (February 2012)”

### 営業収益 (億円)



### 営業利益 (億円)



### 従業員数 (人)

